

令和5年度木更津市生涯学習推進協議会第2回定例会 議事録

- 1 会議名 令和5年度木更津市生涯学習推進協議会第2回会議
- 2 開催日時 令和6年3月27日（水） 午前10時00分～12時00分
- 3 開催場所 木更津市役所朝日庁舎 会議室E
- 4 出席者名 委 員：山崎誠会長、桂啓之副会長、鵜田桂子委員、秋元豊委員、橋詰清委員、
石井一弘委員、原直人委員、小林路秋委員、内田愼一郎委員（9名）
事務局：廣部昌弘教育長、秋元 淳教育部長、鈴木和代教育部次長兼文化課長、
亀田聡史教育部次長兼教育総務課長、山下理係長、高石篤係長、
石川浩美主任主事（7名）
- 5 協議事項・報告事項
 - （1）令和5年度木更津市生涯学習関係事業等について
 - ① きさらづ市民カレッジ
 - ② きさらづ出前講座
 - ③ 生涯学習バス「まなび」
 - ④ 若者語らい場
 - （2）その他
- 6 会議の公開・非公開の別及び傍聴人の数 公開・傍聴人0名
- 7 配布資料 令和5年度木更津市生涯学習推進協議会第2回会議次第
令和5年度木更津市生涯学習推進協議会第2回会議資料

事務局

ただ今より、木更津市生涯学習推進協議会第2回定例会を開催いたします。委員12名中8名の出席、欠席は3名の連絡をいただいております、1名遅れて来られるかもしれません。会議の成立要件につきましては、生涯学習推進協議会設置要綱に規定はございませんが、委員の2分の1以上の出席がございますので成立しています。なお、本日は傍聴人の方はいらっしゃいません。以上報告させていただきます。

それでは初めに山崎会長よりご挨拶をちょうだいしたいと思います。

山崎会長

皆様おはようございます。この会議は年度始めと終わりに開催されます。年度始めに計画承認して、最後に確認をするという性質の会議なんですけども、社会教育というのは時間のかかるものですし、地域の教育環境、色々な協議も長い目で見えていかなくてはいけないものなので、毎年反省をしながら新たな計画を立てていくのが重要かと思っています。特に生涯教育はなかなか難しいところがあるかと思っています。寿命が長くなって、学びたいと思っている年配の方も多くなったかと思いますが、一方で時代の流れが非常に速いですし、教育に関する講座のようなものも山のように出てきています。地域に根差した内容というところが大事なので、1年間を振り返って反省をして、来年度に結び付けられればありがたいと思っています。よろしくお願いいたします。

事務局

ありがとうございます。続きまして、廣部教育長よりご挨拶を申し上げます。

廣部教育長

皆様こんにちは。年度末が押し迫りまして、今年度も残り3日という、平日の午前中の大変ご多用の中、令和5年度木更津市生涯学習推進協議会第2回定例会にご出席をいただきましてありがとうございます。

ようやくコロナが明けてきました。本年度の特徴的な事業といたしましては、市民カレッジを充実させたという事で、清和大学・清和大学短期大学部コース全7回、山崎校長先生にご尽力をいただきまして木更津高専コース全7回、地元学コース全10回の合計24回を、大変盛況の中で終えることができました。私もなるべく参加し、修了証書獲得を目指していました。清和大学・清和大学短期大学部コースはなんとか修了証書をいただきましたが、木更津高専コースと地元学コースは午後開催というもあり、修了証書はいただけませんでしたが、半分ぐらいは受講できたのではないかと思います。ただ今山崎会長からもお話がありましたが、昨今は定年後の年月が非常に長くなっています。私は理科とかが少し苦手で避けてきたのですが、木更津高専コースの市民カレッジに参加させていただいて、今まで触れてこなかった大変興味深いお話をたくさん聞くことができました。来年度は山崎校長先生のご配慮で、木更津高専の教室を会場として使わせていただける方向で調整していただいております。高専さんの校舎の中で授業を受ける機会はなかなかないと思いますので、是非皆様も楽しみにしていただければと思います。生涯学習体制はこれからの木更津にとっては非常に重要なものになると考えておりますので、新年度の市民カレッジを始めとして、今日議題に挙げさせていただいている出前講座や生涯学習バスについて等、この後報告をさせていただきます。なお、本日の会議は皆様の任期最後の会議になりますので、そういう意味も込めまして忌憚のないご意見をたく

さんちようだいできればと思います。本日はよろしくお願いいたします。

事務局

ありがとうございました。それでは協議に入らせていただきます。生涯学習推進協議会設置要綱第6条により会長に本会議の議長として今後の議事進行をお願いしたいと存じます。山崎会長よろしくお願いいたします。

山崎会長

それではご案内のように私の方で進行を務めさせていただきます。

議題の1番目、「令和5年度木更津市生涯学習関係事業等について」の協議であります。事務局のほうから報告をお願いして、その後質疑応答へ移りたいと思います。きさらづ市民カレッジ、きさらづ出前講座、木更津市生涯学習バス、若者語らい場の各事業についてご説明をお願いいたします。

事務局

はい、それではお手元の資料と書かれた冊子をご覧ください。まず1ページ目につきましては、生涯学習課が開催・実施いたしました主な事業・会議、研修会、講演会を含めて、事業名ごとに内容も含めて全体について書かせていただいておりますので、ご覧いただければと思います。

きさらづ市民カレッジにつきましては、教育長のご挨拶の中にもありましたが、地元学コース全10回、木更津高専コース全7回、清和大学・清和大学短期大学部コース全7回を開催させていただきました。各学校のご協力をいただきまして、また地元学コースにつきましては郷土博物館金のすず、文化課等のご協力をいただいて実施したものでございます。4ページ目に今年度の市民カレッジのチラシを掲載させていただいております。また資料の6ページに市民カレッジの受講者の出席状況等を書かせていただいております。地元学コースにつきましては、当初の定員100名を大幅に越え最終的に218名様のお申込みがありました。これは途中から会場の都合がありましたので、動画配信のみの受付をさせていただいた方も含む人数となります。木更津高専コースは71名、清和大学・清和大学短期大学部コースは113名の参加申込でした。資料に出席状況等書かせていただいております。7ページ目からは市民カレッジの各コースの第1回目のアンケート結果で、「市民カレッジの開催を何で知りましたか?」「受講したきっかけは何ですか?」ということをもとめたものを掲載させていただいております。今ちょうど地元学コースの第10回の動画を配信しております。第10回は「写真で見る東京湾の変容」という事で、県立中央博物館の生態・環境研究部長の島立先生へお願いしました。講座の動画を流させていただきたいと思います。お部屋を暗くいたしますのでご注意ください。この動画の配信は期間限定で受講者様へ行っているものです。

動画再生

ご視聴ありがとうございます。講師の先生に許可をいただいたものについて、後日動画配信というかたちでお申込みされた方にご案内させていただき、当日会場に来れなかった場合でも、動画視聴で出席という取り扱いをさせていただいております。今の動画は29日まで、お申込みいただいた方が見られるようになっております。参加者の方からは「当日行けなかった場合でも、後から見ることができ、繰り返し何度も期間中は見るできるので良かった」というお声をいただいているところ

でございます。きさらづ市民カレッジにつきましては、新年度もまた3つのコースで開催する予定でございますので、関心等持たれた方はぜひご参加いただければと思います。

それでは続きまして、きさらづ出前講座をご説明させていただきます。最初にお配りいたしましたのは、令和6年度の最新版のチラシです。こちらにつきましては4月に入りましたら各公民館、市政協力員さんにお配りさせていただく予定です。地域の方が講座の内容、学習の内容について地元で聞きたいと言われた場合お申込みいただいて、近くの集会所、あるいは公民館で講座を聞く事ができるようなものになっております。令和5年度今現在の3月中のものにつきましては、資料10ページ、11ページのものになっております。資料の12ページに令和5年度の出前講座の実施状況について統計を取ったものを入れさせていただきました。防災関係の申込が多く見受けられ、全体では参加の人数が639名、38事業予約、36事業実施という事で承っております。また、14ページ以降にはきさらづ出前講座にご参加いただきました団体様からのアンケートを掲載させていただいておりますので、見ていただければと思います。新年度につきましては先程のチラシの方で4月から掲載していく予定になっておりますので、またご活用いただければと思います。

続きまして、資料の19ページになります。生涯学習バスまなび号の運行状況について、月ごとの乗車人数等を書かせていただいております。生涯学習バスにつきましては、動く教室という事で市民の皆様の学習のためのバスという事でご利用いただいているところです。今年度今のところ2月までで231日運行可能日の中、175件の申請をいただいております。コロナの期間中は密を避け、県外には出られないといった制限を設けてございましたが、今年度は5月からコロナが5類になったということで、少し条件が緩和されました。徐々に皆さんバスを利用して移動教室といった形で利用されるようになっておりますので、令和6年度も引き続きご利用いただけるかなと思っております。生涯学習バスについては以上になります。

続きまして、若者語らい場になります。こちらの方は令和4年度からZOOMを活用してオンラインで若者たちが気軽に交流できる場を月1回、年間を通して行っております。基本的には自由に若者たちが語らいながら交流する場ですけども、交流の中でやりたい事や課題などが挙がった場合には、課題解決のための活動やイベントを企画、開催するものになっております。資料の20ページをご覧ください。まず「移住者さんいらっしゃい」のイベントですが、語らい場に参加されている移住されてきたご夫婦から、移住者同士の交流の場がないという提案があり、そのご夫婦が中心となり企画から運営、またこのチラシの作成まで行いました。当日は6名の方の参加があり、ご自分たちが引っ越してきて悩んでいることの相談等色々な交流をすることができました。現在は生涯学習課の手を離れて、当日参加された方でグループラインを作って、その中で木更津のこういうお店に行ったり、金田交流センターのワークスペースで仕事をした等、交流をしているのでとても良い事業になったと思います。

続きまして、21ページをご覧ください。こちらの「社会人ってなにしてるの？」

も若者語らい場に参加している高校生のお二人の方より、就職活動をする際に就活説明会などは講師の方が説明をするだけで終わってしまう場が多いので、講師の方と気楽に話しながら将来を決めたいという声があがり決まったイベントです。高校生二人を中心に、企画からイベント開催までの準備を進めて参りました。ただ、残念なことに参加の募集をかけたのですが、開催する最低人員に満たなかったので、開催することができませんでした。ただ、高校生たちお二人にとっては、企画段階からこのチラシの作成に至るまで活動できたことはとても良い経験になったと思います。来年度も引き続き自由に語らいながら、また課題解決のために何かしたいという声が挙がりましたら、その際に活動やイベントを行っていきたいと思っております。

山崎会長

ありがとうございました。それでは、今までのご報告を中心に、あるいは体験を通じまして、今年度の活動につきましてご意見をいただきたいと思いますがいかがでしょうか。

秋元委員

きさらづ市民カレッジのところの参加人数はまあまああると思うのですが、参加した人の感じでは「良かった」が8割から9割という事で中身としては非常に良いものだったのではないかと思います。ただ、この市民カレッジについて、「どういう風にして知りましたか」という質問で、「広報きさらづ等の紙媒体で知った」との回答が中心になっております。今紙媒体で広報してもなかなか見てもらえないので、もっと違った方法も考えていった方が良いのではないかと思います。私もまちづくり協議会で、いろいろな企画をしています。残念ながら紙媒体でしか広報の手段がないのですが、紙媒体で流しても来てくれる人というのはそんなにいないんですよね。どうやって来てくれるかというところ、口コミ、友達に誘われたとか、公民館行って職員に誘われたとか、そういう所が非常に多くなっています。市民カレッジの場合、自ら勉強を積極的にしたいという人が参加するんでしょうけれど、やはりそういう参加者の方たちにも、友達誘ってきてくださいという形で広げていかないと、そこで終わってしまうのではないかと思います。どうやって広げていくのか、みんなで考えていかないといけないんじゃないかなと思っております。

山崎会長

この市民カレッジというものがあるというのを知っていて、参加をしているという人が一定数いるのではと思うのですが、広報きさらづ等紙媒体というのは、確実に配布されるものの、それを見ている人というのは限られてくるのではないかと思います。例えば若者を中心に、見てないのではと思うところがあるんですね。講座の内容にもよると思うのですが、紙媒体だけで広報を考えてもなかなか広がらないので、例えば10回ある講座のうち、中学生とか他の人達にも興味を持つような内容の講座があれば、その時に合同開催みたいな形で参加してもらい、「きさらづ市民カレッジがある」という事を知っている人を増やしていくのはどうでしょうか。例えば子どもたちでも、一緒に講座を聞く機会を作ってあげて、確実にそれを体験してもらい、講座があることを知ってもらう。知っている人を増やす。多分一方的に情報を流すだけの広報には、限界が来てるのかなと思います。若者向けにウェブを使ってやっているものもあると思うのですが、でもやっぱりああいうのは関心がある分野を見に行く

というのが主になりますので、なかなかこっちを向いてくれない人に投げかけるには難しいのではと感じています。一部を合同開催にして、一旦人数を増やしてみるなんていうのも良いんじゃないかと思っています。

内田委員

先ほどご報告の中で、最後に説明されていた「移住者さんいらっしゃい」と「社会人ってなにしてるの？」というところについての感想です。全体に言える事ですが、生涯学習や、あるいは公民館活動とか、そういうものに関して若い人たちの関心が少ないのではと感じています。先程、「社会人ってなにしてるの？」という講座も結局開催されなかったとお聞きしました。非常に残念だなと感じています。自分も、もう還暦を過ぎて、自分らの年代の方というのは、若い時から結構公民館に親しんで、あるいは地域の方たちの結びつきも強くてそういった色々なものに対して非常に積極的に出ている方たちが多いと思います。ところが自分たちの子ども世代、あるいは孫世代の若者たちというのは、何かそういった事について関心や飛び付きというか、そういったものがすごく少なくて残念だなという気持ちがございます。やってることは本当に良いことだったと思います。これからの社会に出ていく前の段階の高校生の方で、非常に思い悩んでいる方たち多いのではと思います。多いのですが、それをみんなで考えようという発想がなかなかできていないのかなと感じます。参加者がいなかったからということで終わりにせずに、募集のやり方とか視点等を変えて、是非、次年度以降にやっていただけたらと思います。集まらなかったからと言って、これが悪い企画という訳ではないと思いますので、その辺お願いしたいと思います。それと、「移住者さんいらっしゃい」なのですが、多少なりとも木更津は人口が増えているところですが、今後その頭打ちがくるかもしれません。木更津市は都会からちょっと近い田舎というか、良い所が沢山ありますので、移住者を増やすことも人口増に繋がると思います。これもちょっと視点を変えた中で、今はこの企画を考えてくれた方にすべてを任せる段階に来ているということなんですけども、そういう企画も増やしていけるような形で何か試みをしていただけたらと思います。

桂委員

市民カレッジの件で質問です。申込人数に対して参加人数というか、出席率が意外と少ないなと感じます。年齢層についてはこの資料の中に入っていないのですが、ほぼほぼシニア層なんじゃないかという気がするんです。開催日自体もほぼ平日ですよね。

事務局

土曜日になります。

桂委員

曜日と年齢層が気になったので、できれば分かるようにしていただけたら。内容的には昔生涯学習課が始まったころにはこんなカレッジの内容はいっぱいあったんですよね。ほんの少ししかなかったのに、どんどん増えていって大変活発にやられている。とても良いと思います。

山崎会長

生涯学習の企画としては、やはり市民カレッジが中心となってると思うんです。教養として話を聞くという内容だと取っ付き易いのですが、今回木更津高専が担当させてもらってる工学系とか技術というのは、身近にあるんだけど、いざ話を聞くととなとなかなか難しいのかなと感じています。講師には色々な分野の人がいるの

で、色々内容を変えていたり、あるいは表題に工夫をしてより魅力あるものにしていきたいと考えていたところです。学校でやると、ちょっと機械を動かすデモをやるとか、実物を見せるということが可能なんです。先程子どもたちと一緒にと言いましたが、例えば木更津高専では中学生向けの出前講座みたいなのをやっています。同じように市民カレッジでも中学生何人かに参加してもらって、少し全体を盛り上げるとかというのがあっても良いのかではというイメージがあります。

桂委員

資料を見ると防災について、出前講座でも結構やられてて、多分自治会の方で人気がある様子ですけども、これは市役所としては危機管理課とか、総務関係になるんですか。そこら辺の部署でやってくれるのか、それとも生涯学習課単独でやってくれるのでしょうか。

事務局

チラシの方に書かせていただいているんですけども、講座名の横に担当部、とか、担当課がありまして、今桂委員におっしゃっていただいたように、防災の関係については危機管理課や消防本部関係の部局が担当していただいている形になります。

桂委員

現時点では担当部局でやっているということ？

事務局

そうです。生涯学習課は各部局からあがってきた講座を取りまとめてこの一覧表にして、仲介役をしているという形になっております。

桂委員

お膳立てだけやっているという役割なんですね。

事務局

そうですね、各希望のあった団体さんの方で、特にこういう事についてやって欲しいというようなものがあれば、担当課の方と打ち合わせていただいて、実際の講座に至るということになっております。

桂委員

ありがとうございます。

山崎会長

生涯学習バスのところで、キャンセルになっている理由は为什么呢。予定していたけど人が集まらないとか、天候の状態で中止になったとかいう事ですか。

事務局

会長のおっしゃる通りです。天候が悪くて外に出るのが危ないので中止というものもございますし、最終的にあまりにも少ない人数しか集まらなかった場合は、バスの使用基準に満たないという事でバスをキャンセルしていただく場合もございます。

山崎会長

ありがとうございます。他に質問とか、来年に向けての意見とかございますか。

秋元委員

出前講座の防災関係は意外と人気あると思います。基本的に住民というのは、地震災害等心配すること是一緒で、そういう問題に対する講座を作れば意外と多くの市民が利用すると思うんです。この資料を見ると、防災の他には面白いので木更津霊園の墓じまいもありますし、今市の方で色々やっている財産贈与の関係についても良いのではないのでしょうか。団塊の世代は多いですし、みなさん色々津々浦々考えて、どうしたら良いか分からないという人が多いんですよね。そういう意味では、そういうことについてきちっと啓蒙していく活動が必要だと思っています。八幡台では団塊の世代が多いという事で、「老人ホームって知っていますか？」という講座をやりました。ある程度健康だったら必要ないのですが、身体が悪くなったり怪我したり、連れ合いがいても一人になってしまえば、自分の将来をどうしようかと悩むかと

思います。そういう意味でも、一応今から考えていかないといけないよという内容をやらせていただきました。最初は人が集まらなくてどうしようかと思ったのですが、最終的には 50 人以上、急激に集まりまして、「当日行けないから他の日にもやってくれ」という話もできてきました。介護から保険の関係、福祉の関係について概略的な説明をしたんですけども、裏のタイトルは「あなたはどこで死にたいですか」です。要するに自宅で死にたいと思えば、そういう介護の色々なサービスを使って生活するしかありません。また併せて、地域と結びつかない限りは非常に難しいですよということもお伝えしています。私は自治会の立場から、「地域に密着しなさいよ」という名目でやったんですけど、意外と多くの方が興味を持ってくれました。団塊の世代を含めて、役所ではやりにくいんですけど、そういう問題はきちっとやっていくのが必要かなと思います。田舎から出てきた人は親の介護の問題も出てきますから、そういう意味では必要かなっていう風に思っています。

ただ、地区のある方に「木更津でこういう講座やっているけど、東京に行ってお金を出すと有名な人、テレビに出ている人で聞けますよ。俺はそっちの方が良いから行ってきました」と言われました。「行ってきてどうだった」と聞くと、「良かった」というんです。でも、それは自分で学んできたことを、ただ自分の自己満足で頭の中に入れてるだけだと思うんです。生涯学習として、色々な教育、勉強を皆さんされますよね。学んだ後どうするのかという所が、明確になっていないと感じるんです。本音としては、その勉強したものを、地域なり色々なところで活動して欲しいと私は思っています。だから一生懸命勉強した時、年齢が仮に 90 歳ぐらいでも、「体が動けばそれを利用して地域で何か活動しなさいよ」と、私はずっと言い続けています。やっぱり勉強したものを、どこかで皆さんにお知らせするなり、アクションを起こすことが、私は必要だと思っています。生涯学習っていうと単純に勉強することと皆さん思いがちですが、勉強って次に行くスタートラインだよねというのを、どこかで訴えられればなと思っています。市としてはそこまで考えているかどうか、ただ勉強すればいいよってだけであればそれはそれで良いと思いますけど。

山崎会長

生涯学習って、両方の性質を持っていると思うんですよ。今の秋元委員のお話のように、防災や介護とか色々な問題を地域の皆に知ってもらって地域で役立ててもらおうとか、ただ知識のために勉強がしたいだとか。今言ったような、今木更津市に重要な事、必要なことを講座の中に盛り込んでいくっていうのがすごく必要なんだと思います。私どものところで考えても、防災について講座を行おうと考えた時、そういう直接防災を専門としている人でなくても、台風とか研究している人とか、場合によっては外から呼んでくることもあるかと思います。あとはこう、例えば市民カレッジの場合は、いくつかの講座の中にそういうテーマのものを設定するのもいいかと思います。出前講座については、市の方で現在力を入れていることがテーマとして出てるのではと思うのですが、それを上手く人が聞いてくれる形に結び付けられればと思います。私も同じ様に、学校で中学校向け出前授業をやっているのですが、こっちは一生懸命良いと思って喋るんだけど、全然受け取る方が興味がないっていう

ことがあります。

その他に何かあるでしょうか。生涯学習課から、今の意見に対して何かございますか。

廣部教育長

秋元委員がおっしゃる通りだなと感じます。ひとつは最初にお話がありました互助について。地域には互助という考え方がすごく足りないんだろうと思います。どこで死ぬかってことも含めて、防災もそうですけども、いわゆる公助と自助と共助って話をしていますけど、共助っていう姿勢が地域にはすごく大事になってくるだろうなと感じます。今回の能登半島の震災や東日本大震災を見ている、最後は共助なんだろうなと思います。近所でやっぱり助け合わないとどうにもならないこともあるでしょう。だから秋元委員が、講座で地域の繋がりを作ろうとしているっていうのはすごく大事な事なんだろうなと思います。あと、生涯学習のキーワードは自己実現だと思うんです。学んで自己実現する人もいるし、私の考え方としては、できればこのシニア層の方々に学んでいただいた事を、公民館でシニア層の方が実際に仕事で培ってきたスキルを子どもたちに教えてもらえとか。そういう学んだことをアウトプットして、若い人たちに反映してもらおうっていうのが大事なことで、教えるっていう事は学ぶ以上に自己実現に近いのかなと思います。さっき山崎会長もおっしゃいましたが、色々な生涯学習があるのかもしれませんが、そういうステージを行政としては用意していかないといけないなっていう事を、今改めて考えていたところです。次年度からさらに意識して頑張っていきたいなと思っているところです。

山崎会長

鶴田委員

ありがとうございました。

生涯学習課とは直接関係がないかもしれませんが、毎月1日に市で出す広報きさらづについて意見です。私はスポーツ振興課に所属しておりまして、高齢者のスポーツの方もやっています。木更津市スポーツ協会の方で、1年に1回、1週間、卓球の初心者学級の指導をしています。高齢者の方から1回でなくて、2回でやって欲しいという要望があって、今年から年2回、4人の指導者で指導しています。広報きさらづで募集をするのですが、記事の掲載が1回だけでなく、年2回やるので2回に分けて掲載できると、もっと人が集まるのかなと感じます。40人ほど参加者の募集をしており、スポーツ振興課から広報きさらづに記事掲載をしてもらっているのですが、広報きさらづをいつも見ているけど、その記事を見逃しちゃったって人がいっぱいいるんです。そうすると40人が30人になってしまったりします。そんなわけで、何回か掲載ができるとよいなと思います。ひと月だけ1回だけの掲載だと、見逃しちゃうと次に見る機会が無いんですよ。だから市民カレッジ等も、こんなに立派な会を何回かやってくさるんですから、これを細かに出せるよう、例えばもう1ページ広報を増やしてもらおうとか、そんな方法があったらよいのにといつも感じています。せっかく掲載されても、その申込の欄を見逃しちゃうと、後から気付いて参加したいと思っても、もう参加できないんですよ。それはどうなんだろうと。人を集めるっていうか、来ていただくって形だったら、もうちょっと余計に、何回か出してもらえるとありがたいかなあという事を感じておりました。すいません、ここと関係

ないかもしれません。

廣部教育長

いいえ、ありがとうございます。担当課には伝えますけども、広報きさらづも最後のページまで見ないと分からないようなものも載っていて、月1で出しているのに相当大反響をいただいておりますよね。これからどう浸透していくのか分かりませんが、2月28日から市でも公式LINEを始めました。FacebookとかInstagramはやはり年齢層によっては使わないみたいなのですが、LINEは全国民の80%弱が使われているということで、私も登録はしているんですけど、うるさいくらい通知が入ってしまいます。若干は使っていますが、いちいち全ては読まないなっていう風に感じますよね。

山崎会長

他に何かございますか。議題2のその他というところですけども、この他に何かみなさんございますでしょうか。事務局から連絡等あればお願いしたいと思います。

事務局

事務局のほうからは特にございませんが、せっかくですので委員さんから一言ずつお願いできると幸いです。

山崎会長

では、一応この会議は年度の始めと終わりにというような会議ですけども、任期の方がちょうど今年度区切りを迎えるという事なので、一言ずつ、感想ですとか今のお話を含めまして原委員からお願いします。

原委員

木更津市 PTA 連絡協議会から参りました原でございます。今年1年お世話になりました。また今年1年子どもたちを見てみると、マスクを取った影響なのか病院に行くのがちょっと遠ざかってしまったのか、何年かぶりにこうインフルエンザが大流行しているのを見ました。しかも流行時期が早くて9月ぐらいから始まって、2月くらいまでインフルエンザが続いていましたね。その中で、昔は各学校で親子学習会っていうのをやっていたりして、各 PTA が子どもたちに企画していました。今であれば出前講座、たくさん利用されたんだろうなあとと思いますが、今その親子学習会自体が無くなってしまっているのが残念だなと思っております。また地域の方を見ますと、今年は大谷選手がグローブを寄付して下さったのが届いたのですが、実際に子どもたちが見て、私も実際に見たんですが、今どうなっているのか、どこにそのグローブがあるのか分からないんです。今公園でボール遊びができない。野球をやる子が少ないです。我々の子どもの時には、プラスチックのバットとカラーボールで野球やったりしたのが記憶にあります。しかし今、畑沢地区で言うと、まだサッカーボールや野球のボールを持って遊んでいる子がいるんですけども、港南台地区になってきてしまうと、どうしても住宅街の中の小さな公園になってしまうのでボール遊びができない。公園に子どもたちがいるんだけど、公園でゲームをやっている。公園でカードゲームをやっている。外でそんなことをしている子たちの方が多い状態です。これもまあ難しいところではあるんですが、放課後の学校開放を使わせていただくと、そういったボール遊びや外で元気に遊べる子が増えるのかなと思います。これもまた、学校の先生に丸投げしてしまう訳にもいかないので、なんとも難しいところではあるんですけども、少しでも子どもたちが外で元気にボール遊びしてくれることをお願いしたいなあとと思います。そんな1年でした。

小林委員

小林と申します。文化協会のほうの代表として参加させていただいております。今、出前講座など色々な事を拝見しまして自分自身がすごい無防備だなんていうのを反省しております。色々ところで、色々な行事がされているのに、日々に追われているのか知らないことが多いことを反省しております。自然災害の多い中でそこからどうしていくのか、老後に備えての介護施設等の講座のお話も、そんな事をもっともっと知っておかなきゃいけないんだなって事を、改めて知ることができました。これからもうちょっと参加させていただきたいと思います。

内田委員

私は木更津市社会教育委員から来させていただいております。前回の時もお話をさせていただきましたが、ちょうど社会教育委員会議のほうでは任期が生涯学習推進協議会とリンクしていなくて、前年度の4月から新しく白石さんが議長になられて白石さんの代わりに、今度は私のほうがこちらで皆さんとご一緒させていただきました。本当にありがとうございました。生涯学習という事で、本当に広い範囲の中でのお話になります。前回もそうでしたが、先輩諸兄に色々とお話を聞く機会がございまして、本当に勉強になったと思います。やはり、学習と言うのは先ほど秋元委員からもお話がありました通り、自分の研修でもある事は勿論なのですが、その受けたことを次世代に伝えること、それもまたひとつの生涯学習だと思っています。昔はよく、ある団体の中で、青少年開発というような事業がありました。中学生や高校生たちが対象なのですけども、それを卒業した子たちがジュニアリーダー、シニアリーダーというかたちで自分たちが教わってきたことを、今度はそれを伝えてあげる立場になるんです。その子たちが見てあげるとすぐ子ども達も成長するんですよ。そういったものを我々シニア世代が、ジュニアリーダー、シニアリーダーにはならず、老人団になるかもしれませんけれども、そういうところでいろいろと次の世代に恩返しをする立場なのかなという風に考えています。これで任期が切れて、私はもしかしたら次はお目にかかれなくてもいいかもしれませんが、ただここで培った事はまた次の世代に伝えるために頑張りたいと考えています。以前、講演会の中で人口の分布を、10代ずつに分けてグラフにしているのを見たことがあります。日本は上の年代の方が多くなりつつある。こないだベトナムに行った時に、ベトナムはベトナム戦争が終わった時4千万人だった人口が今1億人になっており、どうも下の世代の方が多くなっているとのことでした。日本の今後の100年くらいの人口の推移予想をこないだソフトを使って見せてもらったんです。そうすると100年後くらいには3千人くらいしか人口が増えていない。勿論下の世代の方が圧倒的に人数が少ないんです。そういった中で、自分たちが学びそして次の世代に学びを伝えていかなきゃいけない。そういったことを、皆様方とお話し合いできる機会があったらと考えております。1年間どうもありがとうございました。

鵜田委員

私は先ほどお願いした通りで、広報をもう少し中身を厚くしてほしいというお願いをしたいと思います。ありがとうございました。

秋元委員

公民館運営審議会の秋元です。公民館運営審議会はまだあと1年任期があるんですけども、実際の会の中ではもう1年やってくれて言われるのか、お役御免だと

言われるのかがまだ分かりません。1年間、楽しくやらせていただきました。好き放題発言させていただいて申し訳ございません。私自身はまちづくり協議会という地域と交流を深める団体で今一生懸命やっております。最初は地域の中の自治会でやろうとしたんですけど、ちょうど賛成と反対と半々で動かなかったからです。私も八幡台小学校区は3つの自治会がございまして、それでまちづくり協議会を作っているんですね。そのまちづくり協議会に行く人がいないという事で、「秋元さん行ってくれ。その代り好き勝手やってくれて良い」と言われたので好き勝手にやらせていただいております。今、地域の中で交流が深まるように色々考えていて、実際に失敗することもあります。ただ、今のままいくと地域度が減退していくのが目に見えているので、そこは少なくとも1mmでも2mmでも留められればなという思いでいます。ですから、色々な人の面白い意見とか企画を耳にしては自分たちでできるかどうか判断しながら、できると思ったら進めている。色々な人に協力していただいたりとか、「その日は出てくれるだけでいい」とか、お願いもしながら進めているところがあります。やはり、この社会を作っていくのは、地域がやっぱり基本にないといけないと思うので、そこはちょっと頑張っていきたいなと思います。1年間ありがとうございました。

橋詰委員

生涯学習の委員になってもう、6年ぐらいになるでしょうか。教育長に是非お願いしたいと思うのがひとつあります。広報誌を、今までのサイズに戻すというのは、できないですか。B4タブロイドは、綴じられないんですよ、昔はA4で資料と同じ大きさでしたよね。前のサイズだと、木更津市から配っていただいたファイルで巧く入っていたんですよ。それが、今のサイズだと入らないんです。是非、渡辺市長に言っていただきたい。

廣部教育長
石井委員

はい、伝えます。

石井と申します。青少年相談員の連絡協議会を代表して参加させていただいております。1年間ありがとうございました。こういった学ぶ場というのがこんなにたくさんあるということを、この会議に参加させていただいて、知ることができました。これだけで、私の中では勉強になったな、といったところでもありますし、更に先程お話に出ていた「社会人ってなにしてる？」という、高校生とかがこういう語らいの場を作ろうとしているといったことも私知らなかったもので、すごく勉強になりました。これは先ほどもお話にあった通り、人数が少なくて開催ができなかったという残念な話があったんですが、うまく広げていけるように青少年相談員の方にちょっと広められたらなという風に思っております。いつか開催できれば更に良いなと思いました。1年間ありがとうございました。

桂委員

生涯学習推進協議会委員になってもう何年になるか、覚えていないのですが、そろそろ引退かなと思っております。私は図書館協議会から参加させていただいております。今図書館のほうもまちづくり計画でいろいろ盛り上がっております。昨日も、避難所とかも含めて色々考えていけないといけないと会議の中で話題になっておりました。まだまだ令和10年の計画ですから先の話、図書館が移動するのもまだ

まだ先という事ではありますが。図書館協議会は来年もう 1 年任期があるという事で、頑張りたいと思います。長い間、ありがとうございました。

山崎会長

私も生涯学習推進協議会に来て 2 年務めさせていただきました。ずっと高専の地域貢献ってどういう方法があるかなあと考えてきて、土木系というか色々な審議会とか担当の先生が出ているんですけども、学校として地域で何か出て行って何かをするっていうのがなかなかなかったもので、市民カレッジの話も私としては非常にありがたいことだと思っています。高専もやはり、地域に知っていただくというのは大事なことだと思うので、営業というか、学生を確保するのも大事なことではあるんですけども、ここに高専があるという事を知ってほしいと思っています。専門学科なり、教育施設があるという事をぜひ知っていただいて、場合によっては活用していただければと思います。体育の教室というのは中学生とか小学生とか、陸上の関係では利用をしに来ていると思うんですけども、その他色々な講座を始めとして、地域貢献が高専の活動のひとつとして大事だということもあって、今年は予算もつきまして学内の施設も色々環境整備ができました。そういう事もあって、来年度からの市民カレッジでは高専の校舎を使って講座を開いてもらえれば、「高専ってこういう場所なんだ」、「思ったより広い」とか、「思ったより古い」とか、色々あるかと思うんですけど、是非広く活用していただければと思います。2 年委員をやらせてもらって、ちょうど高専の方も定年退職で辞めさせていただくことになります。市の関係で、こういう場に皆さんと一緒に色々な話し合いをできる機会をいただけて大変幸せだったと思っています。ありがとうございました。

あとは、事務局の方から何かございますか。

廣部教育長

では、私の方から。冒頭でも申し上げました通り、今年度で任期ということで大変お世話になりました。ありがとうございました。次年度なんですけども、今まで生涯学習推進協議会は貴重な意見多数いただいて、ここまで成長してまいりました。組織を刷新したいなと考えておりまして、しばらくお休みをいただいて、また新たに参加団体の、例えば秋元委員がおっしゃっているようにまちづくり協議会の方々に来ていただくだとか、メンバーの検討も含めながら、しばらくお休みさせていただきたいと思います。また新たに、1 年後になるのか、2 年後になるのかというところだったと思うんですけども、やはり生涯学習については市の魅力という面でも大変重要だなと考えておりますので、またご意見をちょうだいできる機会は必ず作っていきたいと思いますのでよろしくお願いしたいと思います。2 年間どうもありがとうございました。

事務局

ありがとうございました。長時間に渡りまして、貴重なご意見をいただきまして本当にありがとうございました。今後とも本市の生涯学習活動推進のため、委員の皆様になお一層のご支援ご協力を賜りたいと存じます。それでは、令和 5 年度木更津市生涯学習推進協議会第 2 回の会議を終了したいと思います。どうもありがとうございました。